

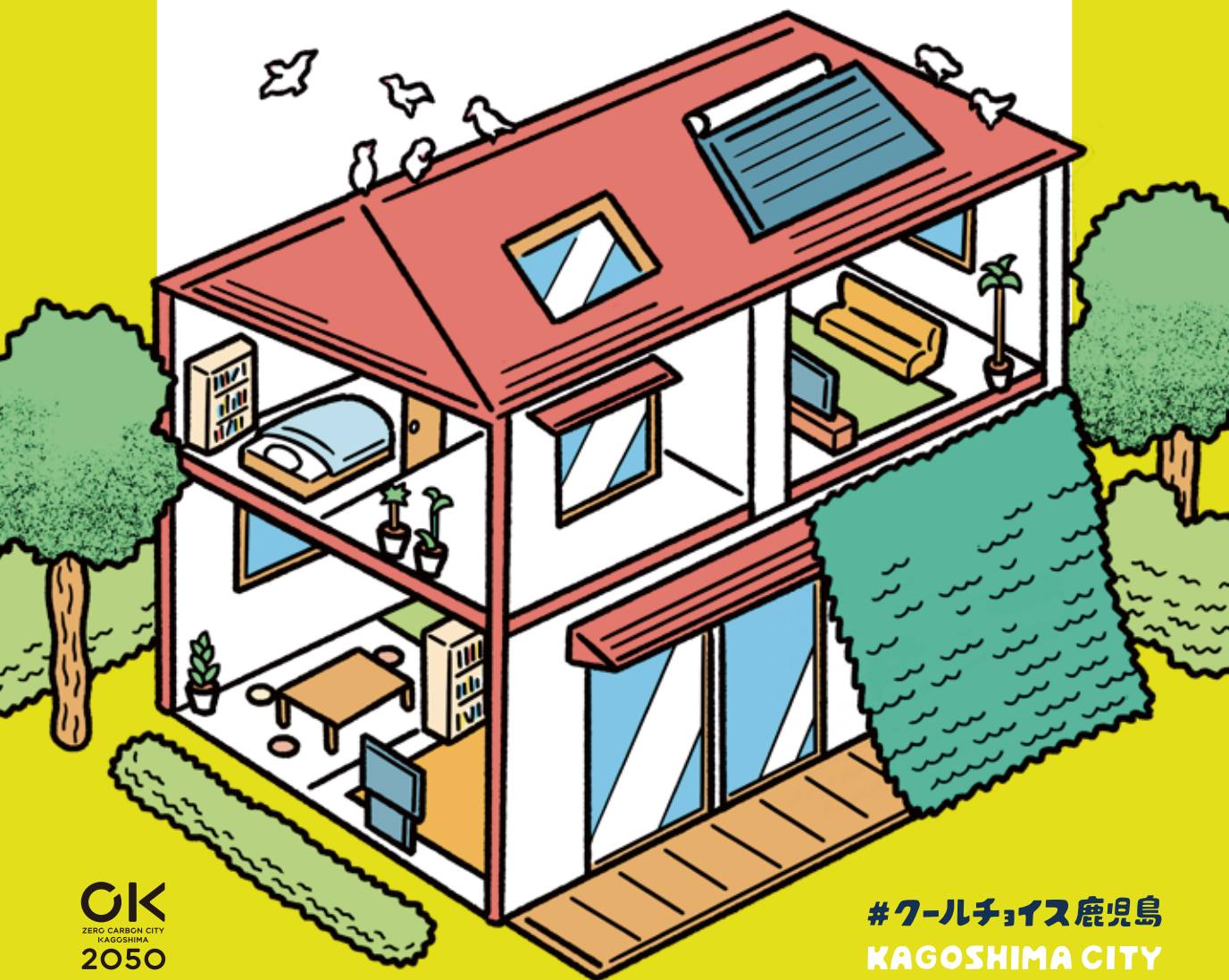
ECOLOGY
HOUSE
CAMPAIGN
GUIDEBOOK

COOL
CHOICE

ISSUE 2020

冬は暖かく、夏は涼しい家で暮らそう
鹿児島市

エコ住キャンペーン ガイドブック



OK
ZERO CARBON CITY
KAGOSHIMA
2050

#クールチョイス鹿児島
KAGOSHIMA CITY

鹿児島市

COOL CHOICE エコ住キャンペーン

「エコ住キャンペーン」とは、環境省が呼びかけている住宅の省エネ・脱炭素化推進のため、高断熱・省エネ住宅への買換えや省エネリフォームを呼びかけるキャンペーンです。

省エネ住宅ZEHとは？

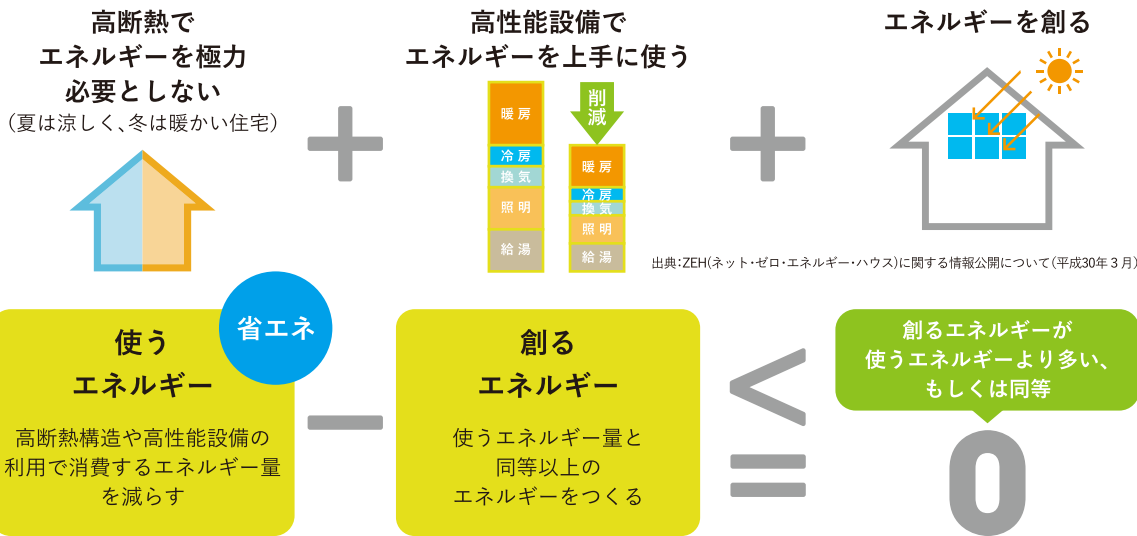
「快適な室内環境」と、「年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下」を同時に実現する住宅です。冬は暖かく、夏は涼しく過ごすことができ、電気代を節約できる、地球に、家計に、家族に優しい省エネ住宅です。



ZEH(ゼッチ)とはNet Zero Energy House (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略



HEMSで、家じゅうのエネルギーをモニター画面で「見える化」



目指すのは「省エネ・省CO₂化」の快適な家づくり

エネルギー自給率を推進！



ZEHが一般住宅の標準に！

日本のエネルギー自給率は2018年に11.8% (※)で、先進国の中でも低い水準です。自宅で消費するエネルギーを自宅で作るゼロエネルギーハウス「ZEH」の普及により、CO₂排出量削減とエネルギー自給率のアップで、エネルギー問題の解決につながる事が期待されています。

ZEH普及に向けて、経済産業省は、2020年までにハウスメーカー、工務店などが建築する注文戸建住宅の「過半数でZEHの実現」を目標に掲げました。ゼロエネルギーハウスが「新築戸建て住宅の標準」になろうとしています。

当社でも、家の性能を上げ、かつエネルギーをつくり、賄うことで、国が推進する「省エネ・省CO₂化」に対応する快適な家づくりを目指し、全て「ZEH標準仕様」の家に行っています。 ※出典：総合エネルギー統計

光熱費の節約と補助金制度がメリット

ZEHは高い断熱性をベースに、高効率機器やHEMS (ホーム・エネルギー・マネジメント・システム) などによる省エネ、太陽光発電などによる創エネ、蓄電池にためる蓄エネを組み合わせ、エネルギーを自給自足します。住む人と環境に優しく、そして家計にも優しい点がメリットです。国や市町村による補助金制度が充実しているだけでなく、光熱費の節約などコストを抑える効果もあるので、今後ますます需要が伸びていくでしょう。

#01 代表取締役社長 七呂 恵介さん



(株)七呂建設

鹿児島市石谷町1260-8
☎ 0120-928-776



鹿児島市は「SDGs未来都市」

鹿児島市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

鹿児島市は、市の特性や地域資源をさらに生かし、SDGsを共通目標として、多様な主体が連携・協働して「豊かさ」を実感できるまちづくりを進め、持続可能な社会を目指す提案を行い、令和2年7月17日、「SDGs未来都市」に選定されました。

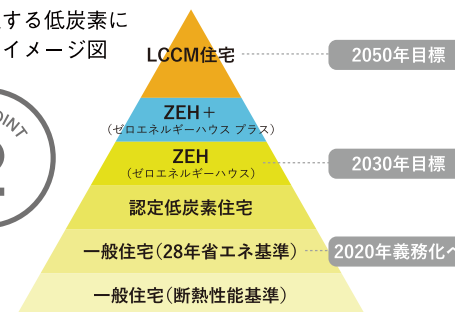
エコ住宅につながるSDGsのアイコン

わたしたちにできるエコな目標に置き換えてみませんか。



- 3 すべての人に健康と福祉を: 快適な温熱環境の下さままな健康リスクの低減につながる
- 7 再生可能エネルギー: 二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーを蓄えて使う
- 11 持続可能なまちづくり: 環境に配慮した素材を使い災害にも強い住まいを建てる
- 12 つくる責任 つかう責任: 建築コストやランニングコストの軽減を回り長く住める家を
- 13 気候変動に具体的な対策を: 高断熱・エネルギー利用の少ない省エネ住宅でCO₂削減も両立する快適な住宅を
- 15 陸の豊かさも守ろう: 地元の森林資源を活用する地材地産で豊かな緑を守る

政府が推進する低炭素に向けた住宅イメージ図



ZEHの先を行くLCCM住宅

日本のCO₂排出量のうち、住まい(家庭部門)からの排出量はその16% (※)を占めます。政府はCO₂削減対策の1つとして、全ての新築住宅に対する省エネルギー基準適合義務化を進めています。今後さらにCO₂削減を強化するため、ZEHの先をいく省エネ住宅の最終目標として、住宅の建設から破棄まで含む一生涯のCO₂収支をマイナスにするLCCM(ライフサイクル・カーボンマイナス)住宅を推進しています。 ※出典：国立環境研究所「日本の温室効果ガス排出量データ(1990～2014年度)」



県産木材やシラス壁など、地材地建でエコ空間

「鹿児島の気候風土に合った健康な住まい」「環境にいいものや地元の木材を使う」という住まいづくりの姿勢を一貫してきているヤマサハウスは、2012年に同社初のLCCM住宅の認定を受けました。

LCCMモデルハウス

72年にわたり鹿児島で家づくりを行ってきた経験と実績を基に、高い品質とデザイン性を兼ね備えた注文住宅のLCCMモデルハウスを展示しています。

美観を長く保つ外壁

長く愛着を持って暮らしてほしい、との考えから、抗菌力のある銅を使った外壁を採用し、蒸し暑い時期でも藻を生えにくくしています。また、コーキングも優れた防汚性・耐久性のあるものを採用し、メンテナンスの軽減を図りました。

地元の石や山の木をあしらう工夫も

玄関アプローチは加治木石、内部にはシラス壁や桜島溶岩石の壁なども採用。庭の景石は南九州の溶岩を使っています。山採りの木は、その自然な樹形を生かす工夫を凝らしています。

KTS住宅フェアにあるヤマサハウスの「グランフェクト」は、世代を超えて住み継がれる家族の故郷となる邸宅、がコンセプト。シラス壁には優れた調湿効果があり、エアコンの使用を抑えられるので、節電にも効果的。地材地建で輸送コストやCO₂排出量を減らす取り組みもクールチョイスです。



人と自然の調和を大切にすることで生まれた地元素材の多用化が、エコ。アプローチから玄関内部へと続く加治木石がシームレスな空間を演出



壁・天井・床で断熱素材を使い分けて性能をアップ！



壁断熱はグラスウール+調湿気密シート+石膏ボードで対応(=写真)。床下は室内空間と考慮して基礎断熱にしています



天井裏は発泡ウレタン吹き付け。ゲージを入れて、吹き付け厚を現場で確認しています



断熱材の施工例や、BS耐力壁柱の実物をグランフェクトモデルハウスで展示しています



①頭上からの涼風吹き出し口 ②床下からの温風吹き出し口 ③家事動線の高さに設置したフィルターでメンテナンスも簡単

頭寒足熱の考えに沿った全館空調メンテナンスのしやすさにも配慮

屋内と屋外、各部屋同士がシームレスにつながり、新たな暮らし方、家族のつながりが生まれる生活空間を、自由設計で形にする同社。

室内空調は頭寒足熱の考えに沿って、冬は床下暖房で下から上へ、夏は冷たい空気を上から循環させています。また、換気システムは熱交換換気の中でもメンテナンスしやすいものを採用しています。

#02



住宅本部 総務・営業企画係長
平野 大地さん

ヤマサハウス(株)

鹿児島市錦江町1-4
☎099・295・3910



耐震強度を保つ壁や柱を工夫

幅45cmの集木ワイドフレーム耐力壁柱が、耐力壁と柱を兼ねて大空間を実現！

耐震強度を保つために必要な耐力壁

木造住宅で横方向の揺れに対する耐震強度を保つためには、60cm幅以上の耐力壁が必要といわれます。

このモデルハウスでは、幅45cm×厚さ12cmのBS耐力壁柱と12cm角の集成材の柱に、幅42cm×厚さ12cmの梁を5.5m渡しています。

通常なら3.6mでもう1本支柱が必要になるところをクリア。いかに広々とした空間ができるかが分かります。モデルハウスでは、壁の中に隠れている梁を仮想映像で確認したり、BS耐力壁柱に直接触れたりできます。





「太陽」と「空気」がある限り、 永遠に働く あたたかい家

太陽熱の床暖房

冬は、屋根で温めた新鮮な空気を利用して、トイレも脱衣室もリビングも、足元から家じゅうを太陽の温かさで満たします。素足で過ごせる心地よさです。

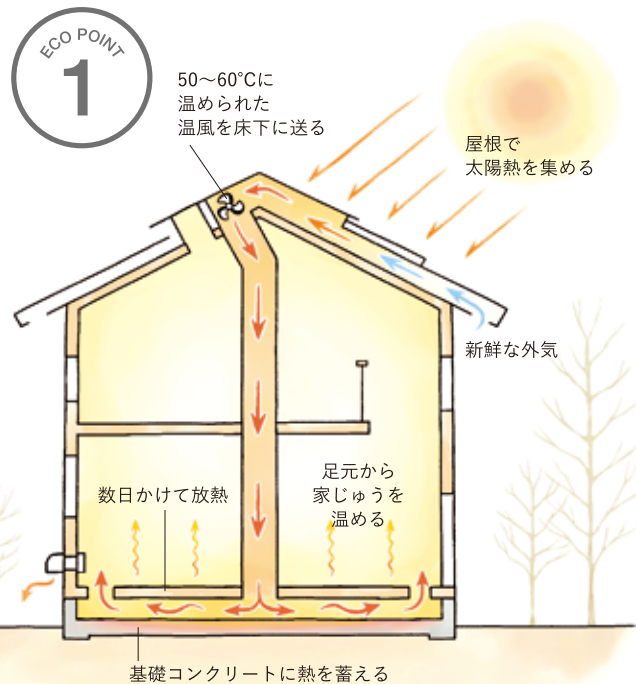
夏は、放射冷却を利用して、夜間に涼風を取り入れます。自然をダイレクトに建築に生かした、地球にやさしいパッシブソーラーシステムを、シンケンではすべての住まいに採用しています。

ひと冬の暖房費 1,656円

入居済みの住まいで、ひと冬の暖房(ファン)代を計測。1日のファンの電気代12円に、稼働した138日間*をかけたところ 1,656円に。

自然の恩恵を、無駄なく住まいに生かしています。
(* 2019/11/15~2020/3/31 の138日間、計測)

0円 + 0円 + 12円/日
太陽熱 空気 電気代(ファン)



ECO POINT 2



森を育み
地球をまもる



鹿児島県の森林面積の約51%、杉の人工林が収穫期にシンケンには、すべての柱・梁や外壁に鹿児島県産の杉を中心に使用しています。
成熟した山の木を使うことは生きた森を取り戻し、豊かな川や海を育むことにつながります。
「永く住まう家だから、50年後も手に入る素材(木)で作り、役目を終えた後は土に還る素材を選ぶ、これは未来の子どもたちに誇れることだと考えています」と営業の橋本さん。

与次郎ヶ浜モデルハウスでリアルを体感

全国でもめずらしいモデルハウス。キッチンで実際に料理ができ、使い勝手・時を経た味わい・心地よさなどを、リアルに体感できる場です。

#03

営業
橋本 仁さん

(株)シンケン

鹿児島市下荒田4-49-22

☎099・286・0088

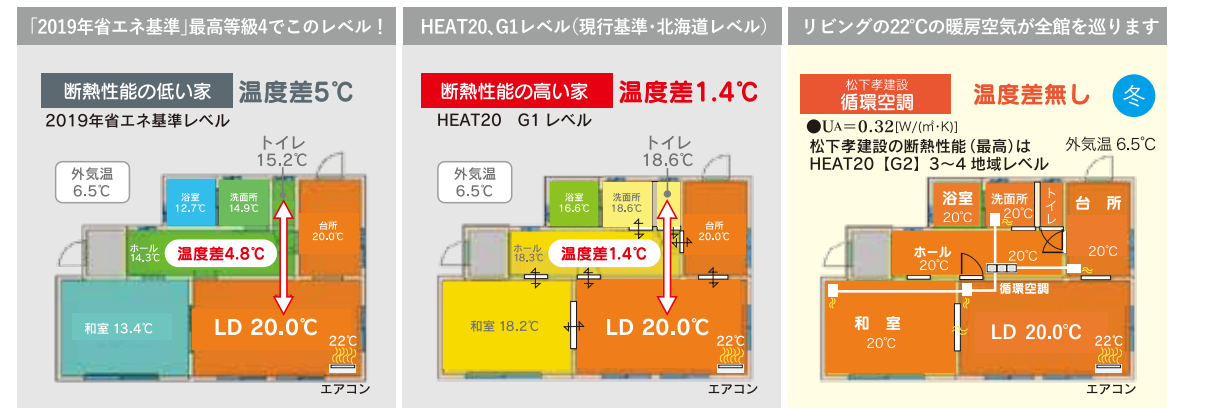
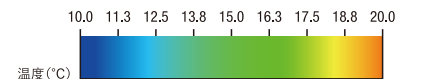


心地よさはモデルハウスで体感いただけます
与次郎ヶ浜モデルハウス< KTS住宅フェア内>
鹿児島市与次郎2-4-43
☎099・253・6888



循環空調で健康的な温熱環境へ

「省エネルギー基準」と「HEAT20」基準による住宅の中の温熱環境比較
 ※HEAT20は松下建設も賛助会員になっている「2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会」の略



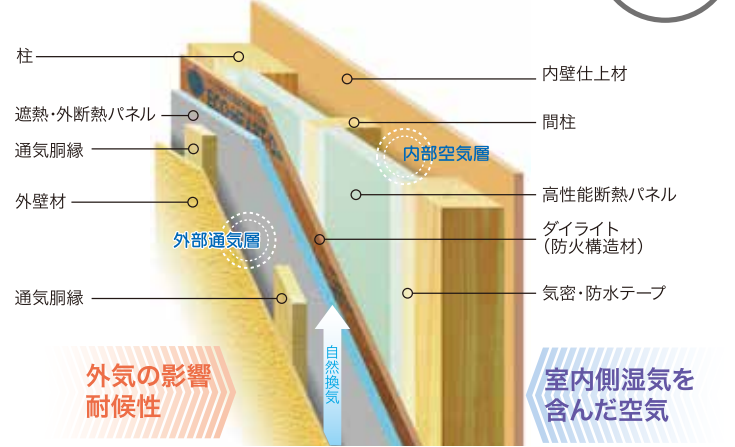
二重断熱でエコ、電気自動車の蓄電で自立生活

松下建設では、独自の断熱工法「ハイブリッド・エコ・ハートQ」で住宅の気密・断熱性能を高め、4 kWのリビング用エアコン1台で全館空調を実現。さらに、電気自動車に蓄電した電気を家に給電するV2H (Vehicle to Home: ビークル・ツー・ホーム)で、停電時も自立した生活を送れる住まいを提案しています。

「ハイブリッド・エコ・ハートQ工法」とは、気密性と断熱性を同時に高める外張断熱(遮熱)と充填断熱のW断熱工法です。外壁の内側を5層構造にすることで、快適な保温・保冷効果が期待できます。「ハウス・オブ・ザ・イヤー・インエナジー2013」で大賞に輝き、現在も高評価を維持しています。



ハイブリッド・エコ・ハートQ工法の断熱構造図



外部通気層と内部通気層の二重の通気層を持ち、断熱性・気密性を高めています

天井・床・壁に固形の断熱材を採用

同社では、押出法ポリスチレンフォームという固形の断熱材を使用。天井は10cm、床は5cm、壁の内張りには4cm、外張りは3cmというように採用する箇所でも厚みを変えています。

外張りはアルミ箔を吸着させて遮熱

夏の強い日差しで室内の温度が上昇するのを抑えるため、外張りのスチレン材にはアルミ箔を吸着させて、熱を遮る効果を持たせています。

固形の断熱材を採用する理由は？

板状の発泡パネルなので形状や厚み調整の柔軟性が高く、隙間なく施工できます。建物が揺れても、断熱材がずれたり・はがれたりする心配がなく、耐吸湿・耐吸水性が高い点なども採用している理由です。



住宅の中の危険な温度差を解消する

上の図は鹿児島県の真冬の外気温6.5°Cと比較したリビング(暖房室)とトイレ(非暖房室)の温度差例です。省エネ基準レベルで断熱施工したときの温度差は5°C。同社がHEAT20のG2基準で断熱施工した「循環空調」システムの住まいは、温度差が解消できました。

右の写真は、同社の断熱の施工事例と、基礎の施工事例です。



V2H (Vehicle to Home) で電気自動車を暮らしの電源に！

太陽光発電したエネルギーを電気自動車(EV)に蓄電し、停電時などはEVから家に給電して自立した生活を送れるようにするビークル・ツー・ホーム(V2H)。EVパワー・ステーションを備えたモデルハウスでは、1日に消費する電気量の目安4kWに余裕を持たせた5kWの太陽光パネルを屋根に搭載しています。

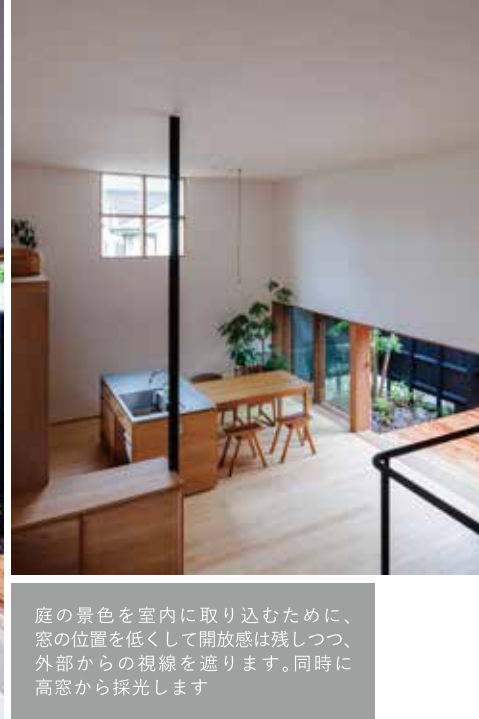


#04		統括部長 池田 俊英さん
		ホームアドバイザー 二神 昌司さん

(株)松下建設

鹿児島市中山1-14-29
 ☎099・267・7594





庭の景色を室内に取り込むために、窓の位置を低くして開放感を残しつつ、外部からの視線を遮ります。同時に高窓から採光します



ベランダの手すりが隠れる高さまで腰壁を設置。障子を半分閉めた様子



障子を全部閉めた様子。室内の木視率を40%にして快適空間に

新聞紙をリサイクルした繊維で断熱

高窓から採光、低窓から庭の景色を取り込む落ち着いた家づくりとも好相性

自然素材由来が断熱材採用のポイント

自然素材を生かした家づくりを行っているベガハウス。落ち着いた空間は、窓の配置にもあります。LDKとつながるデッキや庭もリビングの景色の一部として取り込んでいるので、空間の広がりを感じます。複層ガラスの掃き出し窓と木質繊維系断熱材が良好な温熱環境を生み出しています。

新聞紙をリサイクルした断熱素材

新聞の古紙をリサイクルして綿状にしたセルロース

ファイバー。難燃性を持ち、燃焼しても有毒ガスを発生しないのが特長です。施工には「デコスドライ工法」という専門の吹き込み技術が必要のため、同社では外部に発注。偏りのない均一施工で、断熱性能を保持しています。



新聞紙は、もとをたどれば木の繊維でできています。断熱性はもちろん、調湿性や吸音性にも優れているので、住み心地も良好です。



製造時のCO₂発生も低い断熱材

デコスが製造する自然素材由来のセルロースファイバー(デコスファイバー)は、製造時のエネルギー消費量が少ないところも実はエコ。デコスでは、林産地のCO₂排出権を用い、デコスファイバーのライフサイクルCO₂をオフセットしています。

#05



取締役
長田 友紀さん

(株)ベガハウス

鹿児島市石谷町3624-9
☎099・295・0788



インナー窓と障子で快適性をアップ

桜島と錦江湾を望む絶景の4LDKマンションを「木のリノベーション」で1LDKに

高級ホテルのような上質空間へ

築11年の4LDKマンションをリノベーションするのなら、高級ホテルの雰囲気が漂う1LDKにしませんか、という施主への提案で実現した「木のリノベーション」です。熱を通しやすい単層ガラスの掃き出し窓の内側に複層ガラスの樹脂サッシを新設。さらに2段階開閉の「上げ上げ障子」で夏の強い日差しを遮り、インナー窓との間に設けた空気層で冬の快適性も高めました。



天井は木、床はウールカーペット
自然素材でくつろぎ空間へ！



IFOOの社名は、「威風堂々」に由来。同じグループのベガハウスが新築メインであるのに対し、同社はリノベーション特化型のセカンドハウスブランドを展開。サスティナブル(持続可能)なもののづくりの新たな方法「アップサイクル」に取り組んでいます。

例えば、玄関扉の内側に古民家から譲り受けた欄間を網戸としてアレンジ。また、玄関床は加治木石、天井の無垢材には柿渋を塗布、床は撥水性の高いウールのカーペットなど素材の持ち味を生かしています。



改修のためスケルトンに



単層ガラスの掃き出し窓



複層ガラスと障子を追加



こもれる空間も用意



窓横の壁に飾り棚を造作



寝室も二重サッシ窓と障子で、西日や結露対策をしました

#06



取締役
幸野 成一さん 写真撮影: ©島崎智成

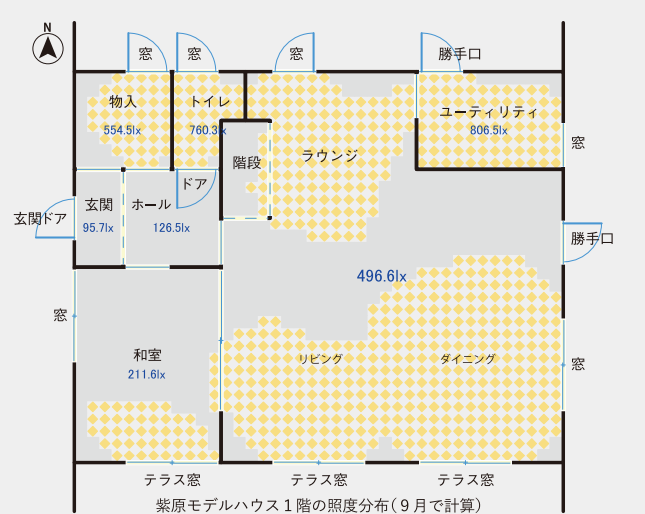
イフォー
(株)IFOO

鹿児島市石谷町3624-9
☎099・296・9780





紫原モデルハウス1階。北側に位置する階段右が吹き抜けて、高窓からの照度も十分



紫原モデルハウス1階の照度分布(9月で計算)

昼光利用で昼間の照明を省エネ化



北側は吹き抜けて照度アップ、南側は日よけで日射対策

敷地に対するシミュレーションで、最適な間取りを提案

風雅匠房では、家の敷地に対して、周囲の建物や植栽などを考慮し、日当たり、室温、光熱費などを事前にシミュレーション。どんな間取りが最適かを検証し、設計提案しています。

断熱性能をしっかり確保すれば、日射量が十分な日は暖房が要らない生活も可能。また、夏は庇やオーニングで遮へいすることで室内に熱が入り込まず、冷房効果が高まり爽快です。

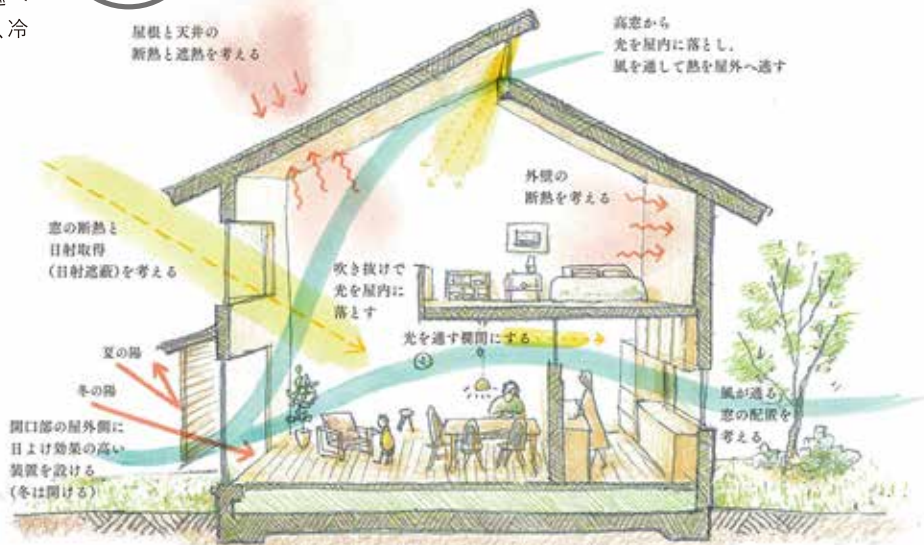


OMXでさらに省エネ

「OMX(オーエム・エックス)」は、太陽の熱で暮らしを快適にするパッシブデザインハウスのために開発された、次世代型冷暖房給湯システムです。

太陽熱とヒートポンプの組み合わせで、省エネルギーで快適な暮らしを実現します。適切な温度帯で自動運転することで、寒暖のストレスを感じずに心地よく過ごすことができます。

上の照度分布は黄色部分が200ルクス以上、灰色部分がそれ未満を表しています。ダイニングは約500ルクスで、食事のために必要な200ルクス以上あることがわかります。昼光を効率的に利用するために、窓の位置と窓のサイズを検討します。窓は大きければいいというのではなく、まぶしさや熱への対策まで考えた設計が重要です。



△家づくりに役立つ図書館も本社に併設

風雅匠房では、OMXを採用しています。1台で床暖房を含む暖房・冷房・給湯・熱交換換気の機能を持ち、省エネで健康と快適さに貢献します

#07 代表取締役 深野木 信さん 専務取締役 深野木 託さん

ふうがしやうぼう
風雅匠房 (株) 深野木組
鹿児島市荒田2-28-19
☎099・251・1611



中空ポリカーボネイトで防寒対策

DIYで窓からの熱の出入りをシャットアウト。手の届く予算で断熱リフォーム

結露の逆流を防ぐため下部に隙間を

既存の壁はそのままに、その内側で断熱をすることで、経費の掛かる壁の断熱とサッシ交換工事を省いた改修例です。用いたのは、中空ポリカーボネイト。半透明で採光と防寒ができて経済的です。

施工写真は、北西に位置する高齢者の寝室の単層ガラス掃き出し窓に、中空ポリカを貼り合わせたもの。窓枠よりも5mm短くカットした中空ポリカをコーキング剤で留めました。結露が中空ポリカ内に逆流するのを防ぐため、下部は隙間を設けているのが、施工ポイントです。

断熱性能を段階的に高めるなら生活動線を優先した改修計画を

昔ながらの田の字型の民家を改修したいけれど、経済的な支出が大きいという場合は、段階的に断熱性能を高める「区画断熱」という考え方もあります。

普段の生活動線を基に、よく使う空間を優先的に断熱します。客間と居間なら、まずは居間から着手。村田さんは実家の改修に当たり、両親の寝室とリビングをワンルームにし、客間との間仕切りをふすまから気密断熱性能の高い断熱内窓に、欄間部分は断熱ボードで塞ぎました。また、キッチンとの境は、漆喰壁にオガファーザー(紙クロス)を直張りし、調湿と土壁の蓄熱性を生かしました。洗面・バス・トイレも居間横に集約。気持ちのいい庭への視線は抜けるようにしています。

改修までのストーリー: 高齢の両親に、築年数がかなりたった実家の大改修を提案したところ、「この先何年住めるかわからない家に大金をかけるつもりはない」と却下されたそう。冬のヒートショック、夏の熱中症が心配なため、必要最低限の経費でできる改修を再提案して実現。中空ポリカーボネイトによる施工は、その一例です。



洗面・バス・トイレも居間横に集約

#08 薩摩じねん派 村田 義弘さん

まるきやう
丸久建設(株) 薩摩じねん派
鹿児島市永吉1-34-20
☎099・254・6225



「ヒートショック」を知っておこう

日常生活の中で起こり得る危険な現象「ヒートショック」、その原因は温度差

家の中でも部屋ごとに異なる温度

寒い冬に、室温が低い冷え切った部屋へ移動すると、温度差によって血圧の急激な変化が起こり、心臓に極度の負担がかかることで、身体的なダメージを受けてしまうことがあります。これが「ヒートショック」です。

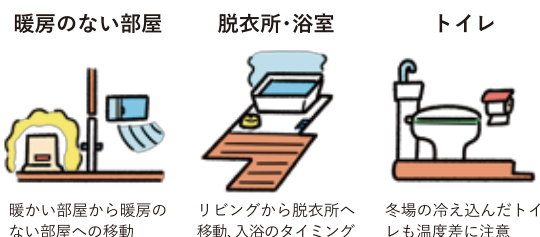
場合によっては心筋梗塞(こうそく)や脳梗塞を引き起こされることもあります。何気ない日常生活の中でも起こり得る、危険な現象です。



急激な寒暖を繰り返すお風呂は要注意!

家の中には、トイレや洗面室など、急な温度変化が起こりやすい場所がいくつか挙げられます。例えばお風呂に入る時、リビングから寒い脱衣所へ移動すると、血管が収縮して血圧が上がります。服を脱いで浴室に入り、冷えた体のまま入浴すると、今度は急に体が温まって血管が広がり、血圧は下がります。温度変化が大きければ血圧の変化も大きくなるため、特に冬場の入浴は要注意です。

「ヒートショック」が起こりやすい場所



11月～3月に浴室でのおぼれ事故が増加

ヒートショックが起こりやすいのが、入浴のタイミング。消費者庁の公表データによると、室温が下がる11月～3月に増加傾向にあります。特に高齢者に多く、死亡事故にもつながっています。入浴時は、温度差以外にもヒートショックが起こりやすい要因(右記)があり、注意が必要です。

血圧変動の要因が潜む場所や行動は要注意!

〈血圧に影響する因子〉

- ・急な寒暖差
- ・風呂の水圧
- ・急に立ち上がる動作
- ・食後、飲酒後
- ・薬の副作用



予防策は屋内の温度差を小さくすること 住まいの安全性を高めるリフォームを



死亡にまでつながる恐れがあるヒートショック。これを防ぐためには、家の中の温度差を小さくすることが重要です。

床や外壁、窓などの部分改修により、住宅の断熱性能が向上すれば、暖房設備がなくても脱衣室と浴室の温度差が少なくなります。ヒートショックが起こる原因を踏まえた上で、住宅のどの場所を断熱改修すればよいかをピンポイントで

分かれば、効率的にリフォームできます。また、家の断熱性能を向上させることで、快適に暮らすことができる上、省エネにもつながります。

環境省の「エコ住キャンペーン」でも、ヒートショックへの注意を呼び掛けています。省エネ・脱炭素化だけでなく、暮らしの安全面に配慮するためにも、住まいのリフォームを検討しませんか。



住まいのリフォームは見た目や間取りを変えるだけでなく、家族みんなが健康に暮らせるための環境づくりでもあります

発行/鹿児島市 環境政策課 鹿児島市山下町11-1 ☎099・216・1296
編集/(株)南日本リビング新聞社
デザイン/(株)ジャッド、イラスト/上坂元 均
2020年12月5日 発行

2020年版「かごしまCOOL CHOICE情報誌」地球温暖化対策に資する「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発のため、鹿児島大学法文学部の教員及び学生とワークショップや取材を行い、クールチョイスを紹介・提案する情報誌が完成しました。ぜひご覧ください。



SINKEN
STYLE

ふだんを、いちばんの幸福に。

街なかでも、郊外でも、
太陽・風・樹木などの豊かな自然をいかして
居心地いい住まいを創造する シンケンスタイル
家族と過ごす「家」での時間、一緒に考えてみませんか？

住まいと暮らしの資料、差し上げております
www.sinkenstyle.co.jp



株式会社 シンケン 与次郎ヶ浜モデルハウス KTS住宅フェア内(県庁裏) TEL:099-253-6888

知っておきたい税の優遇措置

住宅取得者・住宅改修者の負担軽減を図るための支援制度があります

住まいの購入やリフォームを検討しているなら、お金に関する税制についても知っておきましょう。消費税率引き上げに伴う経済支援として、また環境に優しい住まいの推進として、さまざまな支援制度や支援の期間延長が施行されています。それぞれ条件や期間等があるので、適用できる制度はぜひ活用しましょう。

住宅ローン減税

・毎年の住宅ローン残高の1%を10年間、所得税から控除
・所得税から控除しきれない場合、翌年の住民税からも一部控除(拡充)

令和元年10月1日～令和2年12月31日までの間に居住の用に供した場合、控除期間が3年延長(建物購入価格の消費税2%分の範囲で減税)

詳しくは▶ (国土交通省HP)

すまい給付金

・住宅ローン減税の拡充措置を講じて、なお効果が限定的な所得層に対し、収入に応じ現金を給付する制度(令和3年12月までに引き渡しを受け、入居した方が対象)

<拡充>

消費税率の引き上げに伴い、対象となる所得階層を拡充し、給付額が最大50万円に引き上げ

詳しくは▶ (国土交通省HP)

住宅取得等資金に係る贈与税の非課税措置

・父母や祖父母などの直系尊属から、住宅の新築・取得又は増改築等のための資金を贈与により受けた場合に、一定額までの贈与につき贈与税が非課税になる制度(令和3年12月まで)

鹿児島市のゼロカーボン促進助成制度



●太陽光発電システム等の補助

太陽光発電システムとHEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)、リチウムイオン蓄電池、家庭用燃料電池の設置に対して補助することにより、市域での再生可能エネルギーの導入及び利用拡大を推進し、2050年までに本市のCO₂排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティかごしま」の実現を目指します。

個人住宅の助成は、「太陽光発電システム」が2万円/kW・上限20万円(10kW未満)、「HEMS」が3万円/件、「リチウムイオン蓄電池」が10万円/件、「家庭用燃料電池」が10万円/件です。

補助金を受けるには、工事着工前の申請などの要件があります。詳しくは、市HPをご覧ください

市HP



その他の税制も改正され特例措置

良質な住宅の建設を促進するため、税制改正により支援制度期間延長等の特例措置があります。

■新築住宅に係る税額の減額措置

(令和4年3月31日まで延長)

■住宅用家屋の所有権の保存登記に係る特例措置

(令和4年3月31日まで延長)

■認定長期優良住宅に係る特例措置

(令和4年3月31日まで延長)

■認定低炭素住宅に係る特例措置

(令和4年3月31日までの入居が対象)

■居住用財産の買換え等に係る特例措置

(令和3年12月31日まで延長)

■買取再販で扱われる住宅の取得に係る特例措置

(令和4年3月31日まで延長)

■既存住宅の耐震・バリアフリー・省エネ・長期優良住宅化リフォームに係る税額の減額措置

(令和4年3月31日まで延長)

■耐震改修が行われた耐震診断義務付け対象建築物に係る税額の減額措置

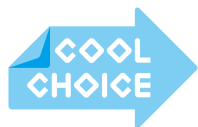
(令和5年3月31日まで延長)

※各税制および特例措置の詳細内容は国土交通省HPで確認できます

詳しくは▶ (国土交通省HP)

クールチョイスとは？

2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減する目標達成のため、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」「サービスの利用」「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。



賢い選択

「COOL CHOICE」の趣旨にご賛同をお願いいたします。



クールチョイス エコ住キャンペーン

住宅の省エネ・脱炭素化推進のため、高断熱・省エネ住宅への買換えや省エネリフォームを呼びかけるキャンペーンです。また、浴室やキッチン、洗面所、トイレなど、住宅の水回りにおいて、節水・節湯水栓、節水トイレ、高断熱浴槽へのリフォームなども推進しています。

